

平成25年度競争的資金制度一覧

更新日:2013年7月

府省名	担当機関	制度名	制度の概要	募集対象	1件当たりの研究費額及び研究開発期間	申請書の受付期間	ホームページと問い合わせ先
内閣府	食品安全委員会	食品健康影響評価技術研究事業	科学を基本とする食品健康影響評価(リスク評価)の推進のため、研究領域を設定し公募を行う「研究領域設定型」の競争的研究資金制度により、リスク評価に関するガイドライン・評価基準の策定等に資する研究として実施する。	大学・試験研究機関等の研究者	1研究課題につき原則2年以内 単年度当たり1課題につき1500万円を上限	2013年度分 公募終了	http://www.fsc.go.jp/ 内閣府食品安全委員会事務局総務課 電話:03-6234-1123
内閣府 文部科学省	日本学術振興会	最先端研究開発支援プログラム	新たな知を創造する基礎研究から出口を見据えた研究開発まで、さまざまな分野及びステージを対象とし、3～5年で世界のトップを目指す先端的研究を推進することにより、産業、安全保障等の分野における我が国の中長期的な国際的競争力、底力の強化を図るとともに、研究開発成果の国民及び社会への確かな還元を図る。	国公立大学、国立試験研究機関、独立行政法人、民間企業等の研究者個人又は研究グループ	研究費額：50億円以下(間接経費含む) 研究開発期間：平成21年度～最長平成25年度	公募終了(追加公募予定なし)	http://www8.cao.go.jp/cstp/sentan/index.html 内閣府最先端研究開発支援プログラム担当室 電話:03-3581-1143 http://www.jsps.go.jp/i-first/index.html 日本学術振興会研究事業部 最先端研究助成課 電話:03-3263-1698
	日本学術振興会	最先端・次世代研究開発支援プログラム	将来、世界の科学・技術をリードすることが期待される潜在的な可能性を持った研究者に対する研究支援制度を創設し、新たな科学・技術を創造する基礎研究から出口を見据えた研究開発まで、「新成長戦略(基本方針)」において掲げられた政策的・社会的意義が特に高い先端的な研究開発を支援することにより、中長期的な我が国の科学・技術の発展を図るとともに、我が国の持続的な成長と政策的・社会的課題の解決に貢献する。	国公立大学、国立試験研究機関、独立行政法人、民間企業等の研究者個人	研究費額：研究開発期間の年度数×5000万円以下(間接経費含む) 研究開発期間：平成22年度～最長平成25年度	公募終了(追加公募予定なし)	http://www8.cao.go.jp/cstp/sentan/index.html 内閣府最先端研究開発支援プログラム担当室 電話:03-3581-1143 http://www.jsps.go.jp/i-jisedai/index.html 日本学術振興会研究事業部 最先端研究助成課 電話:03-3263-1738
総務省	総務省	戦略的情報通信研究開発推進事業	情報通信分野において、独創性・新規性に富む研究開発課題を、広く公募し、外部有識者による選考評価の上研究を委託することで、地域や研究開発実施者に主体性のある先端技術の研究開発を支援する競争的資金。	大学、公的研究機関・民間企業等に所属する研究者	【ICTイノベーション創出型研究開発】 フェーズⅠ:1 課題あたり上限500万円(間接経費別途配分)1か年度 フェーズⅡ:単年度1 課題あたり上限3,000万円(間接経費別途配分)最長2か年度 【若手ICT研究者等育成型研究開発】 フェーズⅠ:1 課題あたり上限300万円(間接経費別途配分)1か年度 フェーズⅡ:単年度1 課題あたり上限1,000万円(間接経費別途配分)最長2か年度 【電波有効利用促進型研究開発】 (先進的電波有効利用型) フェーズⅠ:1 課題あたり上限500万円(間接経費別途配分)1か年度 フェーズⅡ:単年度1 課題あたり上限3,000万円(間接経費別途配分)最長2か年度 (若手ワイヤレス研究者等育成型) フェーズⅠ:1 課題あたり上限300万円(間接経費別途配分)1か年度 フェーズⅡ:単年度1 課題あたり上限1,000万円(間接経費別途配分)最長2か年度 【地域ICT振興型研究開発】 単年度1件あたり上限1000万円(間接経費別途配分)最長2か年度 【ICTグリーンイノベーション推進型研究開発】 単年度1件あたり3,000万円以上1億円以下(間接経費別途配分)最長3か年度	2013年度分 2013年3月18日～4月18日	http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/scope/ 総務省情報通信国際戦略局技術政策課 電話:03-5253-5725
		戦略的国際連携型研究開発推進事業	研究開発成果の国際標準化や実用化を加速し、さらなるイノベーションの創出や我が国の国際競争力の強化、国民生活や社会経済の安全性・信頼性の向上等に資することを目的とし、外国の研究機関と共同で研究開発を実施する日本の研究機関に対して研究開発の委託を行う。	大学、民間企業、独立行政法人、国等の研究機関に所属する研究者	単年度1課題当たり上限1億円(消費税込み・間接経費込み)、最長3か年度	2013年度分 公募終了	http://www.soumu.go.jp/menu_news/news/01tsushin03_02000043.html 総務省情報通信国際戦略局技術政策課研究推進室 電話:03-5253-5730

平成25年度競争的資金制度一覧

更新日:2013年7月

府省名	担当機関	制度名	制度の概要	募集対象	1件当たりの研究費額及び研究開発期間	申請書の受付期間	ホームページと問い合わせ先
総務省	総務省	デジタル・ディバイド解消に向けた技術等研究開発	高齢者・障害者に有益な技術の研究開発に対する政策的支援を行うことで、高齢者・障害者向け通信・放送サービスの充実を図る。	民間企業等	1年当たり上限3000万円(身体障害者等支援研究開発は4000万円)、(助成率2分の1、間接経費別途配分)3年以内	2013年度分 公募終了	情報流通行政局情報通信利用促進課 電話:03-5253-5743
		先進的通信アプリケーション開発推進事業	経路制御や帯域制御などの柔軟なネットワークの設定・運用を可能とする「新世代ネットワーク(将来ネットワーク)」の機能を用いた先進的な通信アプリケーションの開発を支援する。	民間企業、大学等に所属する研究者	【タイプⅠ】 単年度1件あたり上限4000万円(間接経費別途配分)最長1年間 【タイプⅡ】 フェーズⅠ:単年度1課題あたり上限1000万円(間接経費別途配分)最長1年間 フェーズⅡ:単年度1課題あたり上限4000万円(間接経費別途配分)最長1年間	2013年度分 2013年3月18日～4月18日	http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/network_apps.html 総務省情報通信国際戦略局通信規格課 電話:03-5253-5771
	消防庁	消防防災科学技術研究推進制度	消防防災科学技術について革新的かつ実用的な技術へ育成するとともに、利活用するような研究開発について、大学、民間企業、研究企業、消防本部など産学官において研究活動に携わる者等から幅広く募るため、平成15年度より創設した制度です。	産学官の研究開発機関、調査機関、学協会、NPO等の機関、団体または研究者個人、もしくはこれら機関等で構成されるグループ(消防機関に所属する者が、研究グループに必ず参画するように企画)	1課題あたり、直接経費・間接経費合わせて2600万円を上限 1～3年以内	2013年度分 終了	http://www.fdma.go.jp 消防庁予防課消防技術政策室 電話:03-5253-7541
文部科学省	文部科学省 日本学術振興会	科学研究費助成事業(科学研究費補助金、学術研究助成基金助成金)	人文・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」(研究者の自由な発想に基づく研究)を段階に発展させることを目的とするものであり、ピア・レビュー(専門分野の近い複数の研究者による審査)により、豊かな社会発展の基盤となる独創的・先駆的な研究に対する助成を行う。	国公立大学、国公立試験研究機関、企業、独立行政法人等の研究者(1人又は複数)	【特別推進研究】 研究費:総額5億円程度までを上限の目安とするが、上限、下限とも制限は設けない 研究期間:3年～5年 【新学術領域研究(研究領域提案型)】 研究費:1000万円～3億円程度/年(1領域あたり) 研究期間:5年 【基盤研究】 (S)研究費:総額5000万円以上2億円程度まで 研究期間:5年 (A)研究費:総額2000万円以上5000万円以下 研究期間:3年～5年 (B)研究費:総額500万円以上2000万円以下 研究期間:3年～5年 (C)研究費:総額500万円以下 研究期間:3年～5年 【挑戦的萌芽研究】 研究費:総額500万円以下 研究期間:1年～3年 【若手研究】 (S)研究費:総額3000万円以上1億円程度まで 研究期間:5年 (A)研究費:総額500万円以上3000万円以下 研究期間:2年～4年 (B)研究費:総額500万円以下 研究期間:2年～4年 【研究活動スタート支援】 研究費:150万円以下/年 研究期間:2年以内 ※その他詳細はホームページ参照	2013年度分 2012年9月1日～11月9日 ※一部募集時期の異なるプログラムあり	http://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/hoivo/mai_n5_a5.htm 文部科学省研究振興局学術研究助成課 電話:03-6734-4092 http://www.jsps.go.jp/i-grantsinaid/ 日本学術振興会研究事業部研究助成第一課 電話:03-3263-0964

平成25年度競争的資金制度一覧

更新日:2013年7月

府省名	担当機関	制度名	制度の概要	募集対象	1件当たりの研究費額及び研究開発期間	申請書の受付期間	ホームページと問い合わせ先
文部科学省	科学技術振興機構	国家課題対応型研究開発推進事業	国としての重要課題への対応等のため、国が研究開発課題を詳細に設定し、技術的な目標達成等の成果を重視して、優れた提案を採択する競争的資金。	【社会のニーズを踏まえたライフサイエンス(感染症研究国際ネットワーク推進プログラム)】 国内の産学官の研究開発機関・組織	研究費:数億円程度/年(1拠点あたり) 研究期間:平成26年度まで	2013年度分 公募なし	http://www.crnid.riken.jp/igrid/ 文部科学省研究振興局研究振興戦略官付 電話:03-6734-4369
				【社会のニーズを踏まえたライフサイエンス(分子イメージング研究戦略推進プログラム)】 国公立大学、企業、独立行政法人等	研究費:数千万円程度/年(1機関あたり) 研究期間:平成26年度まで	2013年度分 公募なし	http://www.jst.go.jp/keytech/01bunshi/index.html 文部科学省研究振興局研究振興戦略官付 電話:03-6734-4369
				【社会のニーズを踏まえたライフサイエンス(再生医療実現拠点ネットワークプログラム)】 ・大学及び大学共同利用機関法人 ・国公立試験研究機関 ・独立行政法人、特殊法人及び認可法人 ・特例民法法人又は一般社団・財団法人若しくは公益社団・財団法人 ・民間企業(法人格を有する者) ・特定非営利活動促進法第十条第一項の規定により認証を受けた特定非営利活動法人	(iPS細胞研究中核拠点) 研究費:27億円程度/年 研究期間:原則10年 (疾患・組織別実用化研究拠点A) 研究費:原則、4億円程度/年 研究期間:原則、最長10年間 (疾患・組織別実用化研究拠点B) 研究費:技術開発期間(3年以内)は原則1億円程度/年、ステージゲート後は原則4億円程度/年 研究期間:原則、最長10年間 (技術開発個別課題) 研究費:原則、5000万円程度/年 研究期間:原則、最長5年間 (再生医療の実現化ハイウェイ) 研究費:課題A及びB 原則、3億円以内/年 課題C 原則、2億円以内/年 課題D 原則、5000万円以内/年 研究期間:原則、最長10年間程度(課題A) 原則、最長15年間程度(課題B、C及びD) (疾患特異的iPS細胞を活用した難病研究) 研究費:①共同研究拠点 最高で1.5億円/年 ②樹立拠点 最高で2億円/年 研究期間:最長5年間程度(共同研究拠点及び樹立拠点)	2013年度分 2013年2月1日～2月22日 2013年度分 2013年2月1日～2月22日 2013年度分 2013年2月1日～4月19日 2013年度分 2013年2月1日～4月19日 2013年度分 公募予定なし 2013年度分 公募予定なし	http://www.jst.go.jp/saisei-nw/ 独立行政法人 科学技術振興機構 再生医療研究推進部 電話:03-5214-8427
				【社会のニーズを踏まえたライフサイエンス(脳科学研究戦略推進プログラム)】 国内の機関であって、国公立大学、高等専門学校及び大学共同利用機関法人、公設の試験研究機関及び独立行政法人の研究機関又は法人格を有する民間等の研究機関・企業	(研究開発拠点整備事業) 研究費:数千万円程度～数億円程度/年 研究期間:原則5年	2013年度分 2013年8月～9月予定	http://brainprogram.mext.go.jp/ 文部科学省研究振興局ライフサイエンス課 電話:03-6734-4104
				【社会のニーズを踏まえたライフサイエンス(革新的細胞解析研究プログラム(セルイノベーション))】 国公立大学、高等専門学校、大学共同利用機関法人、公設試験研究機関、独立行政法人、民間等の研究機関	研究費:1000万円～1億2000万円/年 研究期間:原則3年～5年	2013年度分 公募なし	http://www.cell-innovation.org/ 文部科学省研究振興局ライフサイエンス課 電話:03-6734-4367

平成25年度競争的資金制度一覧

更新日:2013年7月

府省名	担当機関	制度名	制度の概要	募集対象	1件当たりの研究費額及び研究開発期間	申請書の受付期間	ホームページと問い合わせ先
文部科学省	科学技術振興機構	国家課題対応型研究開発推進事業	国としての重要課題への対応等のため、国が研究開発課題を詳細に設定し、技術的な目標達成等の成果を重視して、優れた提案を採択する競争的資金。	【次世代IT基盤構築のための研究開発】 自ら研究を実施する以下に示す国内の大学、研究開発機関、企業等に所属する職員、又はこれらの機関に所属する職員で構成するチーム ・大学及び大学共同利用機関法人 ・国立試験研究機関 ・独立行政法人、特殊法人及び認可法人 ・特例民法法人又は一般社団・財団法人若しくは公益社団・財団法人 ・民間企業(法人格を有する者) ・特定非営利活動促進法第十条第一項の規定により認証を受けた特定非営利活動法人	研究費:数千万円～数億円程度/年 研究期間:1年～5年	2013年度分 2013年3月15日～4月12日	http://www.ist.go.jp/keytech/kenkyu.html 文部科学省研究振興局参事官(情報担当)付 電話:03-6734-4286
				【光・量子科学研究拠点形成に向けた基盤技術開発】 国内の産学官の研究開発機関・組織(なお、研究者個人は対象となりません。)	研究費:1000万円～4億円程度/年 研究期間:3年～10年程度	2013年度分 2013年3月18日～4月22日	文部科学省科学技術・学術政策局研究開発基盤課 量子放射線研究推進室 電話:03-6734-4115
				【ナノテクノロジーを活用した環境技術開発】 国公立大学、独立行政法人、大学共同利用機関法人(研究者個人は対象となりません。)	研究費:4億円程度/年 研究期間:10年	2013年度分 公募なし	http://www.ist.go.jp/keytech/kouboh21-2.html 文部科学省研究振興局参事官(ナノテクノロジー・物質・材料担当)付 電話:03-6734-4100
				【元素戦略プロジェクト<産学官連携型>】 国内の研究機関(なお、国立試験研究機関(一般会計の機関)、研究者個人は対象となりません。)、企業等	研究費:2700万円～4000万円程度/年 研究期間:5年	2013年度分 公募なし	http://www.ist.go.jp/keytech/kouboh21-6.html 文部科学省研究振興局参事官(ナノテクノロジー・物質・材料担当)付 電話:03-6734-4100
				【元素戦略プロジェクト<研究拠点形成型>】 大学、高等専門学校、大学共同利用機関、独立行政法人、民間企業等(研究者個人は対象となりません。)	研究費:1.5億円～7億円程度/年 研究期間:10年	2013年度分 公募なし	http://www.ist.go.jp/keytech/kouboh23-9.html 文部科学省研究振興局参事官(ナノテクノロジー・物質・材料担当)付 電話:03-6734-4100
				【宇宙科学技術推進調整委託費】 国公立大学、企業、独立行政法人等	研究費:2000万円を上限/年 研究期間:最長3年	2013年度分 2013年4月3日～5月15日	http://www.mext.go.jp/a_menu/kaihatu/space/itakuhi/index.htm 文部科学省研究開発局宇宙開発利用課 電話03-6734-4148

平成25年度競争的資金制度一覧

更新日:2013年7月

府省名	担当機関	制度名	制度の概要	募集対象	1件当たりの研究費額及び研究開発期間	申請書の受付期間	ホームページと問い合わせ先
文部科学省	科学技術振興機構	国家課題対応型研究開発推進事業	国としての重要課題への対応等のため、国が研究開発課題を詳細に設定し、技術的な目標達成等の成果を重視して、優れた提案を採択する競争的資金。	【原子カシテム研究開発事業】 自ら研究を実施する以下に示す国内の大学、研究開発機関、企業等に所属する職員、またはこれらの機関に所属する職員で構成するチーム	【基盤研究開発分野】 (革新技術創出型研究開発) 研究費:総額3000万円～3億円程度 研究期間:原則4年	2013年度分 公募なし	http://www.jst.go.jp/nuclear/ 文部科学省研究開発局原子力課核燃料サイクル室 電話:03-6734-4543
				・大学及び大学共同利用機関法人 ・高等専門学校 ・国立試験研究機関 ・独立行政法人、特殊法人及び認可法人 ・特例民法法人 ・一般社団法人または一般財団法人 ・公益社団法人または公益財団法人 ・民間企業(法人格を有する者) ・特定非営利活動促進法の認証を受けた特定非営利活動法人(NPO法人)	(革新技術創出発展型研究開発) 研究費:総額6億円～12億円以下 研究期間:原則3年	2013年度分 公募なし	
					【特別推進分野】 研究費:総額4000万円～16億円以下 研究期間:原則4年	2013年度分 公募なし	
					【安全基盤技術研究開発】 研究費:1億円以下/年 研究期間:原則4年以内	2013年度分 2013年4月16日～5月20日	
					【環境負荷低減技術研究開発】 研究費:タイプA 1億円以下/年 タイプB 2000万円以下/年 研究期間:タイプA 4年以内 タイプB 2年以内	2013年度分 2013年4月16日～5月20日	
				【原子力基礎基盤戦略研究イニシアティブ】 国公立大学、国立試験研究機関、民間企業、独立行政法人等(文部科学省と委託契約が締結できること)	(戦略的原子力共同研究プログラム) 研究費:2300万円～2800万円程度/年 研究期間:3年以内	2013年度分 公募なし	http://www.jst.go.jp/nuclear/ 文部科学省研究開発局原子力課 電話:03-6734-4543
					(復興対策基礎基盤研究プログラム) 研究費:500万円程度～3500万円以内/年 研究期間:3年以内	2013年度分 2013年4月16日～5月20日	
	科学技術振興機構	戦略的創造研究推進事業	社会的・経済的ニーズを踏まえ、トップダウンで定めた方針の下、組織の枠を超えた時限的な研究体制(バーチャル・ネットワーク型研究所)を構築し、我が国の重要課題の達成に貢献する新技術の創出に向けた研究開発を推進する。	【新技術シーズ創出】 国公立大学、国立試験研究機関、企業、独立行政法人等の個人研究者、グループ研究者等	【CREST(チーム型研究)】 研究費:3000万円～1億円程度/年(1課題あたり) 研究期間:5年以内	2013年度分 2013年4月18日～6月13日	http://www.senryaku.jst.go.jp/teian.html 科学技術振興機構戦略研究推進部 電話:03-3512-3530 E-mail:rp-info@jst.go.jp
					【さきがけ(個人型研究)】 研究費:1000万円程度/年(1課題あたり) 研究期間:原則3年	2013年度分 2013年4月18日～6月11日	
					【ERATO(総括実施型)】 研究費:総額12億円程度(1研究領域あたり) 研究期間:原則5年	2013年度分 推薦公募	
					※ 以上の制度については、必要に応じ年間10億円を超える領域運営も可能となるよう今年度より柔軟な運営に取り組んでいる。		
					【ACCEL(イノベーション指向のマネジメントによる先端研究の加速・深化プログラム)】 研究費:数千円～3億円程度/年(課題に応じ年間最大10億円程度も可能) 研究期間:5年以内	戦略的創造研究推進事業(新技術シーズ創出)等において公募で選ばれた課題から更に抽出	

平成25年度競争的資金制度一覧

更新日:2013年7月

府省名	担当機関	制度名	制度の概要	募集対象	1件当たりの研究費額及び研究開発期間	申請書の受付期間	ホームページと問い合わせ先
文部科学省	科学技術振興機構	戦略的創造研究推進事業	社会的・経済的ニーズを踏まえ、トップダウンで定めた方針の下、組織の枠を超えた時限的な研究体制(バーチャル・ネットワーク型研究所)を構築し、我が国の重要課題の達成に貢献する新技術の創出に向けた研究開発を推進する。	【ALCA(先端的低炭素化技術開発)】	(技術領域) 研究費:1000万円～3000万円程度/年(1課題あたり) 研究期間:2年～5年(最長10年)	2013年度分 2013年4月1日～5月31日	http://www.jst.go.jp/alca/ 科学技術振興機構環境エネルギー研究開発推進部(低炭素研究担当) 電話:03-3512-3543 E-mail:alca@jst.go.jp
				(特別重点技術領域) 研究費:1億円～5億円程度/年(1チームあたり) 研究期間:2年～5年(最長10年)	2013年度分 2013年4月1日～5月8日		
				【社会技術研究開発】	(科学技術イノベーション政策のための科学) 研究費:数百万円～3000万円程度/年 研究期間:3年以内	2013年度分 2013年4月11日～5月21日	http://www.ristex.jp/ 科学技術振興機構社会技術研究開発センター企画運営室 電話:03-5214-0132 E-mail:boshu@ristex.jp
				(研究開発成果実装支援プログラム) 実装費:数百万円～1300万円程度/年 支援期間:3年以内	2013年度分 2013年4月22日～6月27日		
			(問題解決型サービス科学研究開発プログラム) 研究費:数百万円～3000万円程度/年 支援期間:3年以内	2013年度分 2013年4月24日～7月3日			
			(コミュニティがつなぐ安全・安心な都市・地域の創造) 研究費:数百万円～3000万円程度/年 研究期間:3年以内	2013年度分 2013年4月26日～6月25日			
		研究成果展開事業	大学等と企業との連携を通じて大学等の研究成果の実用化を促進し、イノベーションを創出するため、特定企業と特定大学(研究者)による知的財産を活用した研究開発、複数の大学等研究者と産業界によるプラットフォームを活用した研究開発を推進する。	【研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)】	(フィージビリティスタディ・ステージ) 研究費:170万円程度～800万円程度/年 研究開発期間:最長1年 (※2013年度の新規公募は、文部科学省の革新的イノベーション創出プログラム(COI STREAM)の一部として実施します)	2013年度分 2013年3月29日～5月17日	http://www.jst.go.jp/a-step/ 科学技術振興機構 産学連携展開部 研究支援担当 事業調整グループ 電話:03-5214-8994 E-mail:a-step@jst.go.jp
				(本格研究開発ステージ) 研究費:総額4500万円程度～20億円程度 研究開発期間:3年程度～7年程度 ※返済義務のある支援タイプ、企業に一部費用負担を求める支援タイプも有り (※2013年度の新規公募は、文部科学省の革新的イノベーション創出プログラム(COI STREAM)の一部として実施します)	2013年度分 2013年6月頃予定		
				【戦略的イノベーション創出推進プログラム】	研究費:7000万円程度/年 研究期間:最長10年	2013年度分 公募なし	http://www.jst.go.jp/s-innova/ 科学技術振興機構 産学基礎基盤推進部 電話:03-5214-7997 E-mail:s-innova@jst.go.jp
			(センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム) 研究費:4億円～8億円程度/年 研究期間:3年～9年 (※本プログラムは、文部科学省の革新的イノベーション創出プログラム(COI STREAM)の一部として実施します)	2013年度分 2013年6月頃予定	電話:03-5214-7997 E-mail:coi@jst.go.jp		
	【産学共創基礎基盤研究プログラム】	研究費:3000万円程度/年 研究期間:2年程度 (※研究終了前に実施される評価の結果、望ましいと判断した課題については、提案時の研究期間を上限に、最長5年程度まで認める場合有り)	2013年度分 公募なし	http://www.jst.go.jp/kyousou/ 科学技術振興機構 産学基礎基盤推進部 電話:03-5214-7997 E-mail:kyousou@jst.go.jp			

平成25年度競争的資金制度一覧

更新日:2013年7月

府省名	担当機関	制度名	制度の概要	募集対象	1件当たりの研究費額及び研究開発期間	申請書の受付期間	ホームページと問い合わせ先
文部科学省	科学技術振興機構	研究成果展開事業	大学等と企業との連携を通じて大学等の研究成果の実用化を促進し、イノベーションを創出するため、特定企業と特定大学(研究者)による知的財産を活用した研究開発、複数の大学等研究者と産業界によるプラットフォームを活用した研究開発を推進する。	【先端計測分析技術・機器開発プログラム】 【一般領域】(要素技術タイプ、機器開発タイプ、実証・実用化タイプ) 国公立大学、国公立試験研究機関、独立行政法人等の個人研究者と民間企業の個人研究者との共同申請(実証・実用化タイプではチームリーダーは企業の個人研究者。) 【グリーンイノベーション領域】(要素技術タイプ、機器開発タイプ、実証・実用化タイプ) 国公立大学、国公立試験研究機関、独立行政法人等の個人研究者と民間企業の個人研究者との共同申請(実証・実用化タイプではチームリーダーは企業の個人研究者。) 【ライフイノベーション領域】(要素技術タイプ、機器開発タイプ、実証・実用化タイプ) 国公立大学、国公立試験研究機関、独立行政法人等の個人研究者と民間企業の個人研究者との共同申請(実証・実用化タイプではチームリーダーは企業の個人研究者。) なお、同領域では医師の参画が必須(または推奨)。 【放射線計測領域】(実用化タイプ) 国公立大学、国公立試験研究機関、独立行政法人等の個人研究者と民間企業の個人研究者との共同申請(実用化タイプではチームリーダーは企業の個人研究者。)	【一般領域・グリーンイノベーション領域・ライフイノベーション領域共通】 研究費:(要素技術タイプ)2000万円程度/年 (機器開発タイプ)5000万円程度/年 (実証・実用化タイプ)4000万円程度/年 研究期間:(要素技術タイプ)3年半以内 (機器開発タイプ)5年半以内 (実証・実用化タイプ)2年半以内 【放射線計測領域】(実用化タイプ) 研究費:6千万円程度/年 研究期間:2年半以内 ※実証・実用化タイプは全期間マッチングファンド方式。実用化タイプは開発期間の最終年度から遡って1年以上はマッチングファンド方式。	2013年度分 2013年3月29日～5月31日 (全領域共通)	http://www.jst.go.jp/sentan/ 科学技術振興機構 産学基礎基盤推進部 先端計測室 電話:03-3512-3529 E-mail:sentan@jst.go.jp
		国際科学技術共同研究推進事業	我が国の優れた科学技術と政府開発援助(ODA)との連携により、アジア・アフリカ等の開発途上国と、環境・エネルギー分野、防災分野、感染症分野、生物資源分野の地球規模の課題の解決につながる国際共同研究を推進する。 また、政府間合意に基づくイコールパートナーシップ(対等な協力関係)の下、欧米等先進諸国との最先端分野の共同研究や、成長するアジア諸国との共同研究を戦略的に推進する。	【地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム】 国公立大学、国公立試験研究機関、独立行政法人等の個人研究者等 【戦略的国際共同研究プログラム】 国公立大学、国公立試験研究機関、企業、独立行政法人等の個人研究者等	研究費:3600万円程度/年 研究期間:3年～5年	2013年度分 2012年9月26日～11月13日	http://www.jst.go.jp/global/index.html 科学技術振興機構国際科学技術部地球規模課題国際協力室 電話:03-5214-8085
		厚生労働省	厚生労働省	厚生労働科学研究費補助金	独創的又は先駆的な研究や社会的要請の強い諸問題について、競争的な研究環境の形成を行いつつ、厚生労働科学研究の振興を促し、もって国民の保健医療、福祉、生活衛生、労働安全衛生等に関し、行政施策の科学的な推進を確保し、技術水準の向上を図る。	厚生労働省の施設等機関、地方公共団体試験研究機関、大学等、民間研究所、独立行政法人等に所属する研究者	研究期間:原則1～3年(上限5年)
	医薬基盤研究所	オーファンドラッグ・オーファンデバイス研究開発振興事業費(先駆的医薬品・医療機器研究発掘支援事業)	難病、希少疾病など研究開発上のリスクが高く、企業の主体的な研究開発が比較的進みにくい領域や、革新的な技術・手法を用いる先駆的な研究を支援し、その成果を広く普及する。	国公立試験研究機関、大学等、独立行政法人、特殊法人、特別認可法人、公益法人に所属する研究者	年間5000万円から1億円程度、原則、3年以内	2013年度分 公募なし	http://www.nibio.go.jp 医薬基盤研究所 研究振興部研究推進課 電話:072-641-9803

平成25年度競争的資金制度一覧

更新日:2013年7月

府省名	担当機関	制度名	制度の概要	募集対象	1件当たりの研究費額及び研究開発期間	申請書の受付期間	ホームページと問い合わせ先
農林水産省	農林水産省	農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業	<p>農林水産・食品分野の成長産業化に向けたイノベーションを生み出すためには、公的機関等の基礎研究の成果を民間企業の参画により着実に生産現場等の実用化につなげ、農林漁業者や社会に還元する仕組みが不可欠である。</p> <p>このため、本事業は、我が国の有する高い農林水産・食品分野の研究開発能力を活かし、分野横断的に民間企業等の研究勢力を呼び込んだ形で、国内の研究勢力の結集や人材交流の活性化を図るとともに、農林水産・食品分野の技術的課題の解決を図り、産業競争力につなげる産学連携の研究を支援する。</p> <p>本事業では、研究開発段階ごとに基礎段階の研究開発を「シーズ創出ステージ」、応用段階の研究開発を「発展融合ステージ」、実用化段階の研究開発を「実用技術開発ステージ」として、研究課題を提案公募方式により公募し、基礎段階から実用化段階までの研究開発を継ぎ目なく支援する。</p>	<p>【シーズ創出ステージ】 単独の研究機関若しくは研究グループ</p> <p>【発展融合ステージ】 単独の研究機関若しくは研究グループ</p> <p>【実用技術開発ステージ】 下記のセクターのうち、2つ以上のセクターの研究機関等から構成される研究グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セクターⅠ：都道府県、市町村、公立試験研究機関及び地方独立行政法人 ・セクターⅡ：大学及び大学共同利用期間 ・セクターⅢ：独立行政法人、特殊法人及び認可法人 ・セクターⅣ：民間企業、公益・一般法人、NPO法人、協同組合及び農林漁業者 <p>また、研究グループに「普及・実用化支援組織」として、都道府県普及指導センター、民間企業、協同組合等の参画が必須。</p>	<p>【シーズ創出ステージ】 Aタイプ：年間1課題当たり上限5000万円 Bタイプ：年間1課題当たり上限1000万円 Aタイプ、Bタイプ共通：研究期間は原則3年以内</p> <p>【展融合ステージ】 ・第1段階(フェーズⅠ)である1年目の研究の結果に基づき、第2段階(フェーズⅡ)の研究へ移行する多段階選抜方式を導入。 ・産学機関結集型・研究人材交流型共通。 フェーズⅠ Aタイプ、Bタイプ共通：1課題当たり上限500万円 フェーズⅡ(研究開発。フェーズⅠで高い評価を得た課題が対象。) Aタイプ：年間1課題当たり上限5000万円 Bタイプ：年間1課題当たり上限1000万円 Aタイプ、Bタイプ共通：研究期間はフェーズⅠ1年以内、フェーズⅡ原則2年以内</p> <p>【実用技術開発ステージ】 ・研究成果実用型 Aタイプ：年間1課題当たり上限5000万円 Bタイプ：年間1課題当たり上限1000万円 Aタイプ、Bタイプ共通：研究期間は原則3年以内</p> <p>・現場ニーズ対応型 Aタイプ：年間1課題当たり上限3000万円 (「研究連携協定」に基づく研究課題は上限5000万円) Bタイプ：年間1課題当たり上限1000万円 Aタイプ、Bタイプ共通：研究期間は原則3年以内</p> <p>・重要施策対応型 年間1課題当たり上限2000万円、研究期間は原則3年以内 (「緊急対応研究課題」は年間1課題当たり上限1000万円、研究期間は原則1年以内)</p>	2013年度分 2013年2月8日～3月	http://www.s.affrc.go.jp/docs/research_fund/2013/sinki_koubo_2013.htm 農林水産省農林水産技術会議事務局研究推進課 電話:03-6744-7044
	農業・食品産業技術総合研究機構	イノベーション創出基礎的研究推進事業	<p>農林水産政策における様々な課題に技術面から対応するために、多様な分野の研究者の独創的なアイデアや基礎研究をベースとし、将来における技術革新や新産業の創出を目指した技術シーズを開発するための基礎的な研究と開発された技術シーズを実用技術の開発に向けて発展させるための応用研究を一体的に推進する。また、事業化が見込まれる技術シーズを有する大学、公設試等の公的研究機関と研究成果の事業化に取り組む予定の民間企業が行う、東日本大震災からの復興等に資する共同研究開発を推進する。</p>	<p>国内の大学、独立行政法人、国立試験研究機関、民間企業等に所属する常勤の研究者又は共同研究グループ</p> <p>事業化促進型共同研究は、公的研究機関と民間企業の共同研究グループ</p>	<p>【技術シーズ開発型一般枠】</p> <p>Aタイプ：年間1課題当たり上限6000万円(国際共同研究を含む場合は優先的に措置) 研究期間は5年以内 Bタイプ：年間1課題当たり上限1000万円 研究期間は原則3年以内(最大5年まで)</p> <p>【技術シーズ開発型若手研究者育成枠】 Aタイプ：年間1課題当たり上限3000万円 研究期間は原則3年以内 Bタイプ：年間1課題当たり上限1000万円 研究期間は原則3年以内</p> <p>【発展型一般枠】 ・フェーズⅠ(フィージビリティスタディ) Aタイプ、Bタイプ共通：1課題当たり上限500万円 研究期間は1年以内</p> <p>・フェーズⅡ(研究開発。フェーズⅠで高い評価を得た課題が対象。) Aタイプ：年間1課題当たり上限5000万円(国際共同研究を含む場合は優先的に措置) 研究期間は2年以内 Bタイプ：年間1課題当たり上限1000万円 研究期間は2年以内</p>	2013年度分 公募なし	http://www.naro.affrc.go.jp/project/research_activities/laboratory/brain/023257.html 農業・食品産業技術総合研究機構生物系特定産業技術研究支援センター 基礎的研究課 電話:048-669-9190

平成25年度競争的資金制度一覧

更新日:2013年7月

府省名	担当機関	制度名	制度の概要	募集対象	1件当たりの研究費額及び研究開発期間	申請書の受付期間	ホームページと問い合わせ先
農林水産省	農業・食品産業技術総合研究機構	イノベーション創出基礎的研究推進事業	農林水産政策における様々な課題に技術面から対応するために、多様な分野の研究者の独創的なアイデアや基礎研究をベースとし、将来における技術革新や新産業の創出を目指した技術シーズを開発するための基礎的な研究と開発された技術シーズを実用技術の開発に向けて発展させるための応用研究を一体的に推進する。また、事業化が見込まれる技術シーズを有する大学、公設試等の公的研究機関と研究成果の事業化に取り組む予定の民間企業が行う、東日本大震災からの復興等に資する共同研究開発を推進する。	国内の大学、独立行政法人、国公立試験研究機関、民間企業等に所属する常勤の研究者又は共同研究グループ 事業化促進型共同研究は、公的研究機関と民間企業の共同研究グループ	【発展型ベンチャー育成枠】 ・フェーズⅠ(フィージビリティスタディ) 1課題当たり上限500万円 研究期間は1年以内 ・フェーズⅡ(研究開発。フェーズⅠで高い評価を得た課題が対象。) 年間1課題当たり上限3000万円 研究期間は原則2年以内 【事業化促進型共同研究】 年間1課題当たり上限2000万円 研究期間は3年以内	2013年度分 公募なし	http://www.naro.affrc.go.jp/project/research_activities/laboratory/brain/023257.html 農業・食品産業技術総合研究機構生物系特定産業技術研究支援センター 基礎的研究課 電話:048-669-9190
経済産業省	経済産業省	地域中小企業イノベーション創出補助事業(ものづくり中小企業連携支援事業)	地域の中小企業を中心に、大学、高等専門学校、公的研究機関等が共同で実施する、実証研究(実用化技術の実証又は性能評価等)を支援する。	地域の中小企業等、大学、高等専門学校、公的研究機関等から構成される共同研究体	補助金額:300万円～3,000万円(初年度の補助金額) 研究期間:2年以内	2013年度分 2013年4月22日～6月3日	http://www.meti.go.jp/information/publicoffer/kobok130422002.html 産業技術環境局大学連携推進課 電話:03-3501-0075 http://www.hkd.meti.go.jp/ 北海道経済産業局地域経済部産業技術課 電話:011-709-5441 http://www.tohoku.meti.go.jp/ 東北経済産業局地域経済部産業技術課 電話:022-221-4897 http://www.kanto.meti.go.jp/ 関東経済産業局地域経済部産業技術課 電話:048-600-0237 http://www.chubu.meti.go.jp/ 中部経済産業局地域経済部産業技術・人材・情報政策課 電話:052-951-2774 http://www.kansai.meti.go.jp/ 近畿経済産業局地域経済部産業技術課 電話:06-6966-6017 http://www.chugoku.meti.go.jp/ 中国経済産業局地域経済部次世代産業課 電話:082-224-5680 http://www.shikoku.meti.go.jp/ 四国経済産業局地域経済部産業技術課 電話:087-811-8518 http://www.kyushu.meti.go.jp/ 九州経済産業局地域経済部技術企画課 電話:092-482-5462 http://ogb.go.jp/keisan/index.html 沖縄総合事務局経済産業部地域経済課 電話:098-866-1730
	新エネルギー・産業技術総合開発機構	先導的産業技術創出事業(若手研究 Grant)	産業技術強化のため、大学・大学共同利用機関・国立研究所・高等専門学校、独立行政法人・公設試験研究機関、財団法人又は社団法人等(以下「大学・研究機関等」という。))において取り組むことが産業界から期待される技術領域・技術課題を提示した上で、大学・研究機関等の若手研究者(個人又はチーム)から研究テーマを公募し、優れた研究テーマに対して助成金を交付する。	国内の大学、公的研究機関等に属する原則40歳未満の若手研究者(個人又はチーム)。なお、拠点連携研究については原則45歳未満の若手研究者(個人又はチーム)とする。	【拠点連携研究】 研究総額及び研究期間:3000万円上限(直接経費)／1年間 【課題解決研究】 研究総額及び研究期間:5000万円上限(直接経費)／2年間(第1ステージ)＋2年間(第2ステージ) 第2ステージ(3～4年目)は中間評価ゲート方式により選抜(または2年間 研究開発費 3000万円上限 第2ステージからの位置付け)	2013年度 公募予定なし	http://www.nedo.go.jp/koubou/CA2_00723.html 新エネルギー・産業技術総合開発機構 技術開発推進部 若手研究 Grantグループ 電話:044-520-5174

平成25年度競争的資金制度一覧

更新日:2013年7月

府省名	担当機関	制度名	制度の概要	募集対象	1件当たりの研究費額及び研究開発期間	申請書の受付期間	ホームページと問い合わせ先	
国土交通省	国土交通省	建設技術研究開発助成制度	建設分野の技術革新を推進していくため、国土交通省の所掌する建設技術の高度化および国際競争力の強化、国土交通省が実施する研究開発の一層の推進等に資する技術研究開発への助成を行う。「政策課題解決型技術開発公募(一般タイプ)」、「震災対応型技術開発公募」の2つの公募区分に分類しており、それぞれの区分に相応しい研究開発課題の技術研究開発に補助を行う。	<p>【政策課題解決型技術開発公募(一般タイプ)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学等の研究機関に所属する研究者 ・研究を目的とする特例民法法人、一般社団法人、一般財団法人、公益社団法人、公益財団法人または当該法人に所属する研究者 ・日本に登録されている民間企業等または当該法人に所属する研究者 <p>【政策課題解決型技術開発公募(中小企業タイプ)】</p> <ul style="list-style-type: none"> (交付申請者) ・中小企業基本法に基づく中小企業の要件を満たす法人。(研究代表者) ・交付申請者である中小企業に属する研究者 <p>【震災対応型技術開発公募】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学等の研究機関に所属する研究者 ・研究を目的とする特例民法法人、一般社団法人、一般財団法人、公益社団法人、公益財団法人または当該法人に所属する研究者 ・日本に登録されている民間企業等または当該法人に所属する研究者 	<ul style="list-style-type: none"> ○政策課題解決型技術開発公募(一般タイプ)【新規課題】 1課題あたり総額4,500万円(年度上限額2,700万円)まで、交付可能期間最大2年間 ○政策課題解決型技術開発公募(一般タイプ)【継続課題】 1課題あたり総額3,500万円(年度上限額1,500万円)まで、交付可能期間最大3年間 ○政策課題解決型技術開発公募(中小企業タイプ) 事前調査(新規課題) 公募なし 技術研究開発(継続課題) 1課題あたり総額2500万円(年度上限額1,500万円)まで、交付可能期間1~2年間(助成2年目以降) ○震災対応型技術開発公募 1課題あたり総額2,000万円(年度上限額1,100万円)まで、交付可能期間最大2年間 	2013年度分 2013年2月21日~3月25日	http://www.mlit.go.jp/tec/gijutu/kaihatu/iosei.html 国土交通省大臣官房技術調査課 電話:03-5253-8111(22343,22346)	
		交通運輸技術開発推進制度	毎年度設定する国土交通省の政策課題の解決に資する研究開発テーマごとに研究実施主体から研究課題の公募を行い、提案された課題の中から有望性の高いものを採択した上で、研究開発業務として委託する	大学、独立行政法人、日本に登録されている民間企業等の機関に所属する研究者	<p>【委託限度額】 5,000万円程度(初年度の額として)</p> <p>※多年度の研究計画を策定する場合には、初年度に技術開発費総額の半分程度を執行することを想定</p> <p>【研究開発期間】</p> <p>多年度の研究計画を策定する場合の計画期間は3年以内</p>	2013年度分 2013年3月22日~5月1日	http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/safety/ioseisafety_tk2_000007.html 国土交通省総合政策局技術政策課 電話:03-5253-8111(内線25626,25625)	
環境省	環境省	環境研究総合推進費	地球温暖化の防止、循環型社会の実現、自然環境との共生、環境リスク管理等による安全の確保など、持続可能な社会構築のための環境政策の推進にとって不可欠な科学的知見の集積及び技術開発を促進するための事業(平成23年度より「循環型社会形成推進科学研究費補助金」と統合)。	<p>研究参画者は、国内の研究機関等に所属する研究者とする。なお、研究機関等とは以下のいずれかに該当するものとする。</p> <p>ア. 国立試験研究機関</p> <p>イ. 独立行政法人</p> <p>ウ. 大学(国公私立問わず。)、高等専門学校</p> <p>エ. 地方公共団体</p> <p>オ. 特例民法法人又は一般社団法人・財団法人若しくは公益社団・財団法人</p> <p>カ. 民間企業</p> <p>キ. その他の団体(日本の法人格を有しているもの。)</p>	<p>環境研究総合推進費[委託費]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦略的研究開発領域(トップダウン型):総額3億円程度、5年間 ・環境問題対応型研究領域(ボトムアップ型):5千万円以内、3年以内 ・革新型研究開発領域:1千万円以内、3年以内 ・課題調査型研究領域:1千万円以内、1年 <p>環境研究総合推進費[委託費]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦略的研究開発領域:総額数億円程度、5年以内 ※ ・環境問題対応型研究領域:5千万円以内、3年以内 ・革新型研究開発領域(若手枠):1千万円以内、3年以内 ・革新型研究開発領域(統合評価枠):1千万円以内、1年 ・課題調査型研究領域:1千万円以内、1年 <p>環境研究総合推進費[補助金]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究事業(若手育成型研究以外):1億円以内(補助率10/10)、3年以内 ・研究事業(若手育成型研究):1千万円以内(補助率10/10)、3年以内 ・次世代事業:3億円以内(補助率1/2)、3年以内 	(2013年度新規採択課題) 2012年10月4日~11月14日	http://www.env.go.jp/policy/kenkyu/index.html http://www.env.go.jp/recycle/waste_tech/kagaku/index.html 環境省総合環境政策局総務課環境研究技術室 TEL:03-3581-3351(内線6246) 環境省総合環境政策局環境保健部環境安全課環境リスク評価室 TEL:03-3581-3351(内線6342) 環境省地球環境局総務課研究調査室 TEL:03-3581-3351(内線6732) 環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課 TEL:03-3581-3351(内線6857、6858)	
					<p>※戦略的研究開発領域の研究期間は、原則として5年間だが、より早期に研究成果が求められる戦略研究プロジェクト等については、5年間以内で適切な研究期間を設定する場合がある。</p>			